

令和5年度 第1回嘉麻市中小企業振興審議会

- 1 日 時 令和5年12月4日(月) 15時30分～
- 2 場 所 嘉麻市役所本庁 4A会議室
- 3 出席者 別紙のとおり

議 事

(1) 嘉麻市中小企業振興基本計画の評価・実行について

- ・第1次嘉麻市中小企業振興基本計画の最終評価
最終評価のコメント 【資料1、資料1別紙】

- ・第2次嘉麻市中小企業振興基本計画の策定
計画策定の報告 【計画冊子】
計画の実施スケジュール案の説明 【資料2】
※スケジュール案に関するご意見をお願いします(次回会議まで)

(2) デジタル化に関するアンケート調査の実施について

- ・第2次嘉麻市中小企業振興基本計画に基づくアンケート調査(12月から1月)
アンケートの概要、調査用資料の説明 【資料3-1～5】
※調査に関するご意見をお願いします(今回会議～12/8金)

(3) その他

次回開催：令和6年 月 日() 時 分

嘉麻市中小企業振興審議会委員名簿

氏名	所属・職名 選出区分	出欠	備考
ひだか たけし 白高 健	近畿大学 産業理工学部 学部長 識見を有する者		会長
おおさと のぶよし 大里 信義	(一社)福岡県中小企業診断士協会 識見を有する者		副会長
またがわ ひろゆき 北川 裕之	(株)福岡銀行 稲築支店 支店長 識見を有する者		
なかむら ひるみ 中村 博美	嘉麻商工会議所 会頭 市内商工団体等が推薦する者		
おおた たいじ 大田 岱次	嘉麻商工会議所 専務理事 市内商工団体等が推薦する者		
ますだ まさとし 益田 政利	嘉麻市商工会 会長 市内商工団体等が推薦する者		
なかの かつみ 中野 勝己	嘉麻市商工会 事務局長 市内商工団体等が推薦する者		
よしやす かつゆき 吉安 勝行	嘉麻市誘致企業振興会 会長 市内商工団体等が推薦する者		
おおの しげはる 大野 繁治	嘉麻市誘致企業振興会 副会長 市内商工団体等が推薦する者		
まんぼ けんじ 満保 賢二	福岡県飯塚中小企業振興事務所 所長 関係行政機関の職員		
おおさと たける 大里 岳	大里酒造株式会社 公募委員		
なかむら るり 中村 瑠梨	株式会社ひまわり観光 公募委員		

【事務局】

嘉麻市産業振興課 課長 高井 朋仁
 課長補佐兼商工係長 手島 靖
 商工係 尾籠 拓自

5 嘉産第 1 3 6 1 号
令和 5 年 1 1 月 2 7 日

嘉麻市中小企業振興審議会会長 様

嘉麻市長 赤間 幸弘

嘉麻市中小企業振興基本計画に関する審議について（諮問）

嘉麻市中小企業振興審議会規則（平成 30 年嘉麻市規則第 41 号）第 2 条第 1 項第 1 号及び第 2 号に係る下記事項について諮問しますので、貴会においてご審議いただけますようお願いいたします。

記

1. 諮問内容

（1）第 2 次嘉麻市中小企業振興基本計画の変更（デジタル化に関する指標の設定）に関する事項

- ・アンケート調査の実施について
- ・アンケート調査の結果を踏まえた指標の設定について
- ・アンケート調査の結果の公表について

（2）計画の実施状況に関する事項

- ・第 1 次嘉麻市中小企業振興基本計画の最終評価について
- ・第 2 次嘉麻市中小企業振興基本計画の実行について

方針	推進する施策	取組番号	具体的な取組み	実施主体	実績 (2018～2021)	実績 (2022)	指標 (KPI)	当初 値	2018			2019			2020			2021			2022			指標 評価	総合 評価	
									目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率			目標
・中小企業の創業の 促進を図る	①創業希望者の発掘・確保及び育成	1	●窓口相談や創業塾等の開催	商工団体	○ 創業塾受講者	特定創業支援、創業塾の開催	創業塾、創業セミナーの参加人数 (人)	10	11	15	119%	12	16	124%	13	10	111%	14	10	102%	15	11	96%	B	(別紙)	
		2	●段階に応じた情報提供や指導等のサポート強化	商工団体	○ 指導員による巡回と窓口における金融指導、税務相談、労務相談等の受付。	同左																				
		3	●起業チャレンジ補助金制度等の環境づくり及びPR	市	○ 起業チャレンジ支援事業補助金による創業 2018年3件、2019年3件、2020年2件・交付規定改正、2021年5件	補助金を活用した起業 2022年1件																				
		4	●チャレンジマインドの育成を図る取り組みの支援	市	○ 新型コロナウイルス感染症拡大により遅延	学生への社会人講話(商工団体)																				
		5	●地域おこし協力隊を活用した創業モデル事業	市	○ 地域おこし協力隊4名中2名起業	1名市内起業を検討中																				
	②事業計画策定及び資金調達の支援	6	●事業計画策定の支援及び継続的なフォローアップ	商工団体	○ 経営指導員、専門家による補助金申請、事業計画策定の支援。	同左	市の支援制度や創業塾を利用した創業者数 (人)	2	3	8	200%	3	7	213%	4	2	158%	4	2	131%	5	1	105%	A	(別紙)	
		7	●開業時に必要な資金の円滑な調達支援	商工団体	○ 経営指導員、専門家による資金調達のあっせん。	同左																				
	③その他創業の促進を図るために必要な施策	8	●空き家バンク制度の活用	市	○ 空き家バンク登録 2018年8件(2件成約) 2019年5件(2件成約) 2020年1件(4件成約) 2021年3件(0件成約)	窓口相談やHPにより制度の周知、活用の推進 8件(5件成約)																				
		9	●創業者(起業家)ネットワークの構築	商工団体	×																					
・中小企業者の経営 基盤の安定化を図る	①経営に関する相談及び指導の充実	10	●経営指導員等による巡回指導や窓口相談	商工団体	○ 指導員による巡回と窓口における金融指導、税務相談、労務相談等を適宜実施	同左	商工会・商工会議所の相談・指導 件数(件)	2,634	2,700	4,214	128%	2,800	4,781	143%	2,900	4,818	149%	3,000	4,755	151%	3,000	4,842	153%	A	(別紙)	
		11	●専門家派遣やセミナー開催による支援	市	○ セミナーの開催、事業継承センター等との連携支援の実施(商工団体)	同左																				
		12	●行政と商工団体との定期的な協議の場の設置	市	○ 商工団体事務局会議を開催	同左																				
	②経営基盤強化に係る計画策定の促進	13	●経営計画の策定支援	商工団体	○ 経営革新計画策定支援	同左	経営革新計画の策定 事業者数 (社)	5	5	11	160%	6	5	131%	7	7	122%	7	7	117%	8	7	111%	A	(別紙)	
		14	●計画策定後のフォローアップ	商工団体	○ フォローアップの実施	同左																				
	③円滑な資金調達の支援	15	●国・県が行う低利融資制度の活用支援	商工団体	○ 日本政策金融公庫、県制度融資の活用	同左	市外での商談会・展示会等への出展事業者数 (社)	3	4	7	143%	5	2	100%	6	0	67%	7	0	48%	8	2	42%	C	(別紙)	
		16	●各種支援制度の情報提供	商工団体	○ 会報やホームページ等で発信。	同左																				
		17	●設備投資を促進する税優遇措置及び補助金制度創設の検討	市	○ 先端設備等導入計画の認定による税優遇措置(対象設備の償却資産の優遇)	同左																				
	④情報通信技術、展示会・商談会等を活用した販路開拓の促進	18	●ICT及びIoT利用の促進	商工団体	○ 経営革新計画遂行支援事業補助金の創設(市)セミナーなどでHP作成やネットビジネス展開などの研修機会の提供、支援(商工団体)	デジタル導入に関する計画策定支援2件 個別支援	福岡県事業引継ぎ支援センターへの紹介事業	-	1	3	300%	1	1	200%	1	3	233%	2	2	180%	2	6	214%	A	(別紙)	
		19	●展示会や商談会への出展支援	市	○ 全国展開支援事業の小冊子へ観光地を掲載。2018年RKBラジオまつり、2019年全国物産展出店	ものづくりフェアに出展(誘致企業振興会)																				
⑤円滑な事業承継の支援	20	●福岡県事業引継ぎ支援センターを活用した事業承継の支援	商工団体	○ 承継の重要性、手立て等の意識づけを行い、支援ネットワークと連携。迅速な対応が必要なものは専門家の派遣を行う。	事業承継診断、事業承継計画策定など事業承継に向けたプッシュ型支援の強化			(1)	(3)		(2)	(4)		(3)	(7)		(5)	(9)		(7)	(15)					
・中小企業の活用による 地域内の経済循環の創出を図る	①中小企業の製品、技術、サービスに関する情報提供	21	●展示会やイベントの開催支援及び市内産品の市民の活用促進	商工団体	○ 夏・冬の売出しの促進。サルビアマーケットを毎月開催。2019年山田ブギウギまつりを開催。	山田ブギウギまつり、マルシェなどイベントの開催	地域経済循環率(%)	59.9	61.0	62.0	102%	62.0	62.0	100%	63.0	60.5	96%	64.0	58.8	92%	65.0	63.3	97%	B	(別紙)	
		22	●地域経済の活性化に資する周知の支援	市	○ 広報紙、回覧版による周知、イベント後援	同左																				
		23	●市内事業者のマッチング事業	商工団体	○ ふるさと納税の返礼品での市内事業者のマッチング支援	同左																				
	②地域資源活用の促進	24	●専門家派遣等による支援	商工団体	○ 商談会、展示会出展において、レイアウト、POP、フードコーディネーター等の専門家を派遣。	同左	プレミアム商品券事業の実施	-	-	-	-	1	13	1300%	1	0	650%	1	0	433%	1	1	350%	A	(別紙)	
		25	●高付加価値商品の創出及び地域ブランド化	商工団体	○ 高付加価値商品の創出、地域ブランド化における特産品開発補助	同左																				
		26	●地元商品をPRする場所や機会提供の取組みの検討	市	○ 市発注工事市内事業者の活用	同左																				
	③地域商店活用の促進	27	●市バス等とのコラボによる商店街の活性化	商工団体	○	ブギウギまつりの開催	商店街イベント開催 (回)	-	-	-	-	1	13	1300%	1	0	650%	1	0	433%	1	1	350%	A	(別紙)	
		28	●プレミアム商品券の発行及び地域通貨導入の調査・研究	商工団体	○ プレミアム商品券の発行	同左																				
		29	●市内買い物デーの設定による地域商店での消費喚起	市	×	新型コロナウイルス感染症の拡大による応援飲食券の発行(市と商工団体)																				同左

方針	推進する施策	取組番号	具体的な取組み	実施主体	実績		指標(KPI)	当初値	2018			2019			2020			2021			2022			指標評価	総合評価	
					(2018～2021)	(2022)			目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率			
・中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①新技術・新商品の開発支援	30	●経営革新計画の策定支援	商工団体	○	経営革新計画策定支援	同左	農林産加工の新商品年間開発数(件)	-	1	2	200%	2	1	100%	2	1	80%	2	0	57%	2	2	67%	B	(別紙)
		31	●計画策定後のフォローアップ及び新たな取組みへの支援	商工団体	○	フォローアップの実施	同左																			
		32	●異業種交流や産学官連携の支援	商工団体	○	工業技術センターを活用したマッチング	農商工連携マッチング2件 ほか																			
		33	●福岡県工業技術センターを活用した技術の高度化の支援	商工団体	×																					
	②地域資源を活用したツーリズムの振興	34	●地域特性を活かしたツーリズムの振興	市	○	ボルダリング施設(K-WALL)の集客	同左 週末移住に関するイベントの開催	年間観光消費額(百万円) (2015年)	914	-	873	#VALUE!	-	952	#DIV/0!	-	1039	#DIV/0!	587	315	#VALUE!	316	未集計	#VALUE!	-	(別紙)
		35	●観光拠点施設を活かした観光消費額の増大	市	○	足白農泊協議会にてフットパス、収穫体験を実施	観光イベントの開催																			
		36	●新たな取組みを踏まえた新事業に対する支援	市	○	地域ブランド化における特産品開発補助	R4特産品開発補助金の申請なし																			
	③農商工連携の促進	37	●一次産品に付加価値を付け、新たな商品開発を行うための支援	市	○	農林産加工の新商品2件(酒粕パウダー、柿酢)	農林産加工の新商品3件(焼き菓子、リンゴ酢、甘酒スムージー)	【再掲】 経営革新計画の策定事業者数	5	5	11	160%	6	5	131%	7	7	122%	7	7	117%	8	7	111%	A	(別紙)
38		●農商工事業者のマッチング支援や6次産業化の支援	市	○	年間観光消費額87,200万円(2019年)、経営革新補助金	地域雇用活性化協議会によるセミナー開催など																				
・中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①地域の中小企業への就労促進	39	●企業と求職者のマッチング支援	市	○	直方中小企業大学校研修	地域雇用活性化協議会によるセミナー開催など	直方中小企業大学校の年間研修受講者数(人)	2	3	2	80%	3	1	63%	4	0	42%	4	0	31%	5	0	24%	C	(別紙)
		40	●市内中小企業の魅力の発信	市	○	広報紙による企業の紹介(年6回)	情報誌、HPにおける企業の紹介																			
		41	●空き家バンクや空き市営住宅の利活用の検討	市	○	空家バンク登録	同左																			
	②技術・技能の継承と後継者育成	42	●従業員の技術向上支援	商工団体	○	巡回・窓口での相談対応、研修費助成	同左	UIターンによる年間就業者数(人)	-	2	2	100%	4	2	67%	6	2	50%	8	1	35%	10	1	27%	C	(別紙)
		43	●事業承継の支援	商工団体	○	事業承継診断	事業承継計画書策定など事業承継に向けたプッシュ型支援の強化																			
	③安心して働ける労働環境の整備の促進	44	●若年世代のコミュニケーション体制づくりの支援	商工団体	×																					
		45	●技術・技能の習得やキャリアアップのための情報提供	商工団体	○	社会保険労務士等による働き方改革の相談受付 など	相談や会報において情報提供																			
		46	●労働環境の啓発のための広報活動の展開	市	○	広報紙による企業の紹介(年6回)	情報誌、HPにおける企業の紹介、採用力強化セミナー(地域雇用活性化推進事業)																			
・小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	①事業計画策定及び円滑な資金調達の支援	48	●経営計画の策定支援	商工団体	○	経営計画策定支援	同左	【再掲】 商工会・商工会議所の相談・指導件数(件)	2,634	2,700	4,214	128%	2,800	4,781	143%	2,900	4,818	149%	3,000	4,845	152%	3,000	4,842	153%	A	(別紙)
		49	●計画策定後のフォローアップ及び情報提供	商工団体	○	巡回相談等により支援を継続	同左																			
		50	●国、県等の低利融資の活用促進	商工団体	○	指導員による巡回と窓口における金融指導、税務相談、労務相談等の受付	同左																			
	51	●経営指導員等による巡回指導や窓口相談	商工団体	○	小規模事業者に適宜、金融、労務、経営、税務等全般指導を窓口、巡回により実施。	同左																				
	52	●ICT活用による売上拡大の支援	商工団体	○	経営革新計画遂行支援事業で支援	デジタル導入に対応させ支援継続																				
③その他小規模企業者の事業の持続的な発展を図るために必要な施策	53	●ワンストップ相談窓口の設置や専門家派遣の支援	商工団体	○	経営全般の相談に応じワンストップ窓口の役割	同左																				

方針	推進する施策	取組番号	具体的な取組み	指標評価	総合評価（審議会意見）
・中小企業の創業の促進を図る	①創業希望者の発掘・確保及び育成	1	●窓口相談や創業塾等の開催	B	
		2	●段階に応じた情報提供や指導等のサポート強化		
		3	●起業チャレンジ補助金制度等の環境づくり及びPR		
		4	●チャレンジマインドの育成を図る取り組みの支援		
		5	●地域おこし協力隊を活用した創業モデル事業		
	②事業計画策定及び資金調達の支援	6	●事業計画策定の支援及び継続的なフォローアップ	A	
		7	●開業時に必要な資金の円滑な調達支援		
	③その他創業の促進を図るために必要な施策	8	●空き家バンク制度の活用		
		9	●創業者（起業家）ネットワークの構築		
・中小企業者の経営基盤の安定化を図る	①経営に関する相談及び指導の充実	10	●経営指導員等による巡回指導や窓口相談	A	
		11	●専門家派遣やセミナー開催による支援		
		12	●行政と商工団体との定期的な協議の場の設置		
	②経営基盤強化に係る計画策定の促進	13	●経営計画の策定支援		
		14	●計画策定後のフォローアップ		
	③円滑な資金調達の支援	15	●国・県が行う低利融資制度の活用支援	A	
		16	●各種支援制度の情報提供		
		17	●設備投資を促進する税優遇措置及び補助金制度創設の検討		
	④情報通信技術、展示会・商談会等を活用した販路開拓の促進	18	●ICT及びIoT活用促進	C	
		19	●展示会や商談会への出展支援		
⑤円滑な事業承継の支援	20	●福岡県事業引継ぎ支援センターを活用した事業承継の支援	A		
・中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	①中小企業の製品、技術、サービスに関する情報提供	21	●展示会やイベントの開催支援及び市内産品の市民の活用促進	B	
		22	●地域経済の活性化に資する周知の支援		
		23	●市内事業者のマッチング事業		
	②地域資源活用の促進	24	●専門家派遣等による支援		
		25	●高付加価値商品の創出及び地域ブランド化		
		26	●地元商品をPRする場所や機会提供の取組みの検討		
	③地域商店活用の促進	27	●市バス等とのコラボによる商店街の活性化	A	
		28	●プレミアム商品券の発行及び地域通貨導入の調査・研究		
		29	●市内買い物デーの設定による地域商店での消費喚起		

方針	推進する施策	取組番号	具体的な取組み	指標評価	総合評価（審議会意見）
・中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①新技術・新商品の開発支援	30	●経営革新計画の策定支援	B	
		31	●計画策定後のフォローアップ及び新たな取組みへの支援		
		32	●異業種交流や産学官連携の支援		
		33	●福岡県工業技術センターを活用した技術の高度化の支援		
	②地域資源を活用したツーリズムの振興	34	●地域特性を活かしたツーリズムの振興	-	
		35	●観光拠点施設を活かした観光消費額の増大		
		36	●新たな取組みを踏まえた新事業に対する支援		
	③農商工連携の促進	37	●一次産品に付加価値を付け、新たな商品開発を行うための支援	A	
38		●農商工事業者のマッチング支援や6次産業化の支援			
・中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①地域の中小企業への就労促進	39	●企業と求職者のマッチング支援	C	
		40	●市内中小企業の魅力の発信		
		41	●空き家バンクや空き市営住宅の利活用の検討		
	②技術・技能の継承と後継者育成	42	●従業員の技術向上支援	C	
		43	●事業承継の支援		
	③安心して働ける労働環境の整備の促進	44	●若年世代のコミュニケーション体制づくりの支援		
		45	●技術・技能の習得やキャリアアップのための情報提供		
46		●労働環境の啓発のための広報活動の展開			
47		●女性等の雇用の創出やテレワークの拡大			
・小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	①事業計画策定及び円滑な資金調達の支援	48	●経営計画の策定支援	A	
		49	●計画策定後のフォローアップ及び情報提供		
		50	●国、県等の低利融資の活用促進		
	②生産性向上及びICTの活用による売上拡大の支援	51	●経営指導員等による巡回指導や窓口相談		
		52	●ICT活用による売上拡大の支援		
	③その他小規模企業者の事業の持続的な発展を図るために必要な施策	53	●ワンストップ相談窓口の設置や専門家派遣の支援		

昇順	体系分類1 コード	体系分類1	体系分類2 コード	体系分類2	取組コード	取組	取組略称	重要課題 位置づけ 状況	第1次計画との 関連	現状	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
1	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	a	商工会や商工会議所（以下「商工団体」といいます。）による窓口相談や創業塾等により、創業希望者が創業に向けて具体的な検討ができるように支援します。	窓口相談や創業塾等の開催		継続	市：創業支援等事業計画の認定（R1.6.12～R7.3.31） 市・商工会：経営発達支援計画（R5.4.1～R10.3.31） 商工会：経営発達支援計画に基づく伴奏型支援（創業支援等事業計画に基づく創業塾はR4で終了） 商工会議所：創業塾	1-1_創業塾、創業セミナー、個別講習の参加人数（人）						
2	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	b	嘉麻市創業支援等事業計画に基づき、商工団体、金融機関等と行政機関が連携を密にし、創業希望者や創業間もない方へ、段階に応じた情報提供や指導等、きめ細かなサポートを強化していくことで、創業の実現と安定した経営を目指します。	段階に応じた情報提供や指導等のサポート強化		継続	市：支援証明書の発行、創業相談窓口、移住定住起業チャレンジ支援事業補助金など 商工会・商工会議所：創業相談窓口、巡回指導、伴奏型支援、事業承継支援	1-2_市の支援制度や創業塾、個別講習を利用した創業者数（人）						
3	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	c	移住定住起業チャレンジ支援事業補助金の継続的実施に加え、首都圏や福岡都市圏へのPRを行い創業希望者の発掘・確保に努めます。	移住定住起業チャレンジ支援補助金の実施及びPR		新規	・移住定住起業チャレンジ支援事業補助金の実施、適宜見直し ・制度の周知（HP、シティ情報ふくおか ほか）	1-2_市の支援制度や創業塾、個別講習を利用した創業者数（人）						
4	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	d	また、市の既存施設を活用したインキュベーション施設等についても検討し、創業しやすい環境づくりを進めます。	創業しやすい環境づくり		新規	-							
5	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	e	地域での起業意識の向上を図るため、市内の小中学校、高等学校において地元の人材による社会人講話を通じて、次世代を担う子供たちのチャレンジマインドの育成を図る取り組みを支援します。	学生の起業意識の醸成のための取組支援		継続	・第1次計画では市が主な実施主体となっていた ・稲築東中学校で社会人講話に協力したが、生徒の感想をみるかぎり効果は薄い。ビジネスプランの立案や模擬店運営など実践的な事業に切り替えたほうが良いのでは。（商工会R4事業報告）	1-1_創業塾、創業セミナー、個別講習の参加人数（人）						
6	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	f	起業者を増やすことを目的に、*地域おこし協力隊を活用した創業モデル事業に取り組みます。	地域おこし協力隊を活用した創業モデル事業		継続	・嘉麻スタイルが移住定住イベント実施 ・移住定住企業チャレンジ支援事業補助金の実施	1-2_市の支援制度や創業塾、個別講習を利用した創業者数（人）						
7	1	中小企業の創業の促進を図る	②	事業計画策定及び資金調達 の支援	a	創業意欲を持つ人が、確実な経営ができるよう、商工団体の経営指導員が創業時の事業計画策定を支援するとともに、創業後も事業が軌道に乗るよう、継続的なフォローアップを行います。	事業計画策定の支援及び継続的なフォローアップ		継続	・経営指導員及び専門家による補助金申請、事業計画策定支援、創業後の定期巡回、課題のフォローアップ	1-1_創業塾、創業セミナー、個別講習の参加人数（人）						
8	1	中小企業の創業の促進を図る	②	事業計画策定及び資金調達 の支援	b	開業資金等、既存の資金調達支援制度の利用を促進するなど金融機関との連携を図りながら、創業時に必要となる資金の円滑な調達を支援します。	開業時に必要な資金の円滑な調達支援		継続	市：創業支援講座の支援証明の発行、セーフティネット認定など 商工団体：実践創業塾や個別相談による支援、マル経資金申請対応 ・チャレンジ補助金の支援があっても資金ショートする事例が散見される。吉富町のチャレンジショップ事業（コンテナ式店舗の貸出）やコワーキングスペースの提供などあれば起業ハードルは下がるのでは（R4商工会事業報告） ・物価高が事業計画に支障（R4商工会議所事業報告）	1-2_市の支援制度や創業塾、個別講習を利用した創業者数（人）						
9	1	中小企業の創業の促進を図る	③	その他創業の促進を図る ために必要な施策	a	空き家バンクなどを活用し、市外からの移住定住に結びつく創業の促進を図ります。	空き家バンクなどを活用した移住定住・創業の促進		継続	・空き家バンク制度、移住定住起業チャレンジ補助金、結婚新生活支援事業補助金、転入者等住まい応援交付金の実施	1-2_市の支援制度や創業塾、個別講習を利用した創業者数（人）						
10	1	中小企業の創業の促進を図る	③	その他創業の促進を図る ために必要な施策	b	創業者相互の連携組織化を支援し、ネットワークを構築していくことで、更なる創業者の呼び込みを図ります。	創業者（起業家）ネットワークの構築		継続	・連携組織はないが、ネットワークを持たない創業希望者の支援として、商工団体が個別対応していると思われる ・第1次計画のR2事業評価では実績なし。主な事業主体は商工団体となっていた	1-1_創業塾、創業セミナー、個別講習の参加人数（人）						
11	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	①	デジタル化促進に向けた支援	a	中小企業のデジタル化の促進を支援することで、社内の生産性の向上だけでなく、将来的には新たな価値の創造につながる取り組みを行います。	デジタル化の導入及び促進支援	重	新規	・経営革新計画遂行支援事業（デジタル化）、先端設備等導入計画の認定	2-2_企業におけるデジタル化進捗割合（%）						
12	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	①	デジタル化促進に向けた支援	b	嘉麻市および商工団体において、経営におけるデジタル化の必要性の啓発を行います。	経営におけるデジタル活用の啓発	重	新規	・商工団体によるデジタル化に関する講習等開催 ・中小企業へのデジタル化推進は商工会が担う。市は市民のデジタルデバイドの解消を期待する（R4商工会事業報告）	2-2_企業におけるデジタル化進捗割合（%）						

昇順	体系分類1 コード	体系分類1	体系分類2 コード	体系分類2	取組 コード	取組	取組略称	重要課題 位置づけ 状況	第1次計画との 関連	現状	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
13	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	①	デジタル化促進に向けた支援	c	嘉麻市として、デジタル化促進の取り組みを支援する補助金制度を設けます。	デジタル化促進事業の活用	重	新規	・R5に経営革新計画遂行支援事業にデジタル化支援を追加 ・先端設備等導入計画の認定、導入等促進計画の更新	2-1_補助金利用数_デジタル化促進支援(件)						
14	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	①	デジタル化促進に向けた支援	d	デジタル化の促進に向け、商工団体および嘉麻市において、成功先進事例などの情報提供を行います。	成功事例の情報提供	重	新規	・情報発信を強化する	2-2_企業におけるデジタル化進捗割合(%)						
15	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	①	デジタル化促進に向けた支援	e	商工団体や福岡県、嘉麻市の持つデジタル化促進に向けた相談窓口の紹介を行います。	デジタル相談窓口の紹介	重	新規	・相談があれば随時対応	2-2_企業におけるデジタル化進捗割合(%)						
16	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	②	経営に関する相談及び指導の充実	a	商工団体の経営指導員等による巡回指導や窓口相談等により、金融、財務、労務、社会保険、経営技術の改善等、中小企業の経営全般にわたる支援を行います。	経営指導員等による巡回指導や窓口相談		継続	・経営指導員による巡回、窓口における金融指導、税務相談、労務相談等の受付、補助金申請等の実施 ・事業承継センター、飯塚中小企業振興事務所と連携して専門家派遣を実施	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数(件)						
17	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	②	経営に関する相談及び指導の充実	b	商工団体や金融機関と連携し、専門家の活用を図りながら、経営革新や経営力向上等のセミナーを開催します。	専門家派遣やセミナー開催による支援		継続	・商工団体、かまらぼが各種セミナーを実施	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数(件)						
18	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	②	経営に関する相談及び指導の充実	c	商工団体と定期的に協議の場を設けて、情報を共有することにより、中小企業の相談支援体制の強化を図ります。	行政と商工団体との定期的な協議の場の設置		継続	・随時協議している	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数(件)						
19	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	③	経営基盤強化に係る計画策定の促進	a	独自の技術ノウハウを持った創造的中小企業を育成するため、中小企業の経営革新計画/事業計画の策定を支援します。(4-1-bで再掲)	経営革新計画/事業計画の策定支援		継続	・商工団体による経営革新計画、事業計画策定支援の実施	2-5_事業計画の策定事業者数(社) 2-4_経営革新計画の策定事業者数の増	(関連目標) 2-3_商工団体の相談指導件数の増 2-4_経営革新計画の策定事業者数の増					
20	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	③	経営基盤強化に係る計画策定の促進	b	計画策定後も継続的なフォローアップを行うとともに、計画遂行に必要な情報提供などの支援を行います。(4-1-eで再掲)	計画策定後のフォローアップ		継続	・商工団体によるフォローアップの実施	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数(件)						
21	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	④	円滑な資金調達支援	a	国や県が行う中小企業向けの低利融資制度の活用を支援します。	国・県が行う低利融資制度の活用支援		継続	・商工団体による公庫資金等のあっせん(公庫と連携しマル経融資など)	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数(件)						
22	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	④	円滑な資金調達支援	b	新分野への参入や新たな事業展開等、経営基盤の強化に取り組む中小企業に対し、関係機関の支援制度など必要な情報を提供します。	各種支援制度の情報提供		継続	・市と商工団体より各種支援制度に関する情報を会報やHP等で発信	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数(件)						
23	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	④	円滑な資金調達支援	c	中小企業の生産性向上に資する設備投資の促進を図るため、税制面での優遇措置及び補助金制度の創設を検討します。	設備投資を促進する税優遇措置及び補助金制度創設の検討		継続	・先端設備等導入計画の認定(固定資産税の軽減措置)、経営革新計画遂行支援事業のデジタル化への対応	2-8_補助金利用数_雇用創出・維持に向けた支援(件)						
24	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑤	展示会・商談会等を活用した販路開拓の促進	a	商工団体と連携し、展示会商談会等の開催、出展等を支援し、新たな販路を創出していきます。	展示会や商談会への出展支援(出展支援)		継続	・商工会がかつて実施していたが、R2コロナ以降は未実施 ・誘致企業振興会として、ものづくりフェア@マリンメッセに出店	2-6_市外での商談会・展示会等への出店事業者数(社)						
25	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑤	展示会・商談会等を活用した販路開拓の促進	b	県や関係機関等が開催する物産展や商談会の情報を提供します。	展示会や商談会への出展支援(情報提供)		継続	・HPなどで情報提供	2-6_市外での商談会・展示会等への出店事業者数(社)						
26	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑤	展示会・商談会等を活用した販路開拓の促進	c	また、商工団体との連携により、オンライン商談会などデジタル化に向けた対応を支援します。	展示会や商談会への出展支援(デジタル化対応支援)		新規	・オンライン商談会の実績なし	2-6_市外での商談会・展示会等への出店事業者数(社)						
27	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	a	嘉麻市内に多くの雇用を創出するため、工業団地の新規整備を計画しており、適地調査を行い、可能性調査を経て企業立地を促進する拠点を整備します。	工業団地の整備に関する検討	重	新規	・工業団地の新規整備に関して調査中	-						
28	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	b	また、既存立地企業の事業拡大に向けた支援を図り、積極的に取り組みます。	誘致企業の事業拡大支援	重	新規	・個別に相談対応、誘致企業への奨励措置	-						
29	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	c	国の制度等を活用し、地域企業や創業希望者に対し、各種セミナーの開催など魅力ある雇用の創出に向けた支援を推進します。	雇用の創出に関する取組への支援	重	新規	・嘉麻市地域雇用活性化協議会(厚労省事業)による各種講習会の実施	2-8_補助金利用数_雇用創出・維持に向けた支援(件)						

昇順	体系分類1 コード	体系分類1	体系分類2 コード	体系分類2	取組コード	取組	取組略称	重要課題 位置づけ 状況	第1次計画との 関連	現状	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)		
30	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	d	円滑な事業承継の促進に向けて、福岡県事業承継引継ぎ支援センターを活用し、事業承継を希望する中小企業者と経営資源を引き継ぐ意欲のある方とのマッチングを支援するとともに、商工団体や金融機関等との連携を図りながら、研修機会の提供を行います。	福岡県事業引継ぎ支援センターを活用した事業承継の支援	重	継続	・商工団体が支援センターと連携し、事業承継診断、県事業承継応援補助金の申請支援などを実施（R3商工会、商工会議所進捗報告） ・センター連携実績（R4商工会6件、R4商工会議所0件） ・商工会のプッシュ方支援でM&A案件も増加。支援先も一巡したため、再診断を実施し、承継や引継ぎを支援する（R4商工会事業報告）	2-7_福岡県事業引継ぎ支援センターへの紹介事業者数（社）							福岡県事業承継ネットワーク運営会議への参画 事業承継診断の実施、支援センターへのフォードバック	
31	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	e	経営者が早期に後継者の育成に着手できるよう、学習や相談の場を提供するなど、関係機関と連携して円滑な事業承継を支援します。	経営者に対する事業承継意識の醸成	重	新規	・商工団体による事業承継診断、支援センターとの連携支援	2-7_福岡県事業引継ぎ支援センターへの紹介事業者数（社）							福岡県事業承継ネットワーク運営会議への参画 事業承継診断の実施、支援センターへのフォードバック	
32	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	f	事業承継を対象とした補助金制度を設けます。	移住定住起業チャレンジ支援補助金の実施及びPR	重	新規	・R5から移住定住起業チャレンジ補助金に事業承継を追加	2-8_補助金利用数_雇用創出・維持に向けた支援（件）								補助事業の実施、効果検証、見直し
33	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	①	中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進	a	市内中小企業の商品、技術、サービス等を紹介する展示会やイベントの開催の支援、事業者同士のマッチングを促進することで、新たな取引の創出につなげるとともに、市内産品製品の市民の活用を促します。（4-①-aに再掲）	展示会やイベントの開催支援及び市内産品の市民の活用促進	重	継続	・市内事業者主催のマルシェ開設支援を実施（R2R3商工会進捗報告）	3-1_企業マッチングの場の創設（件）	（関連目標） 3-3_商店街イベント・マルシェの開催回数の増（市の補助金対象の増）							イベントの開催・支援 市内産品活用促進の検討
34	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	①	中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進	b	地域経済の活性化に資する情報等については、市の広報誌やホームページ閲覧等を積極的に活用して周知を行います。（4-①-bに再掲）	地域経済の活性化に資する周知の支援	重	継続	・商工会が域外需要取り込みのためのHP作成、更新を支援（R3実績）	-								情報発信の強化
35	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	①	中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進	c	異業種間の交流や市内中小企業の事業連携を促進し、域内取引の拡大を目指します。（4-①-cに再掲）	域内取引拡大のための事業者連携の促進	重	継続	・R2進捗状況より「キヨミドリ×豆腐」のマッチングによる高付加価値商品開発の支援の記載あり ・商工会がマルシェ開催支援、専門家による店舗診断やPOP作成など支援。嘉麻図鑑を発刊し、バイヤー向けにも提供（R3実績）	3-1_企業マッチングの場の創設（件）								情報収集 連携意向調査
36	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	①	中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進	d	域内調達率の向上に資する市内/筑豊地域内の事業者同士の取引を増やすための、デジタルツールを活用した個別の企業マッチングの支援など具体的な提案を行います。	事業者間連携促進の支援の提案	重	新規	・特に支援はない	3-2_市内中小企業の公共事業受注率（%）								情報収集 連携意向調査
37	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	②	公共事業における市内中小企業者の受注機会の拡大	a	市は、自らの工事発注、物品役務の調達に関して、市内経済の活性化の観点から、予算の適正な執行及び透明かつ公正な競争の確保に留意しつつ、市内中小企業者の受注機会の拡大を図り、市内中小企業の振興を推進します。具体的には別途、市としての実施方針を定め、この方針に基づき計画的に取り組みます。	公共事業の受注機会拡大のための実施方針の策定	重	新規	・市内発注を継続	3-2_市内中小企業の公共事業受注率（%）								事例・情報収集 全庁的な公共事業発注先調査 発注率向上のための実施方針の検討・策定 職員への啓蒙
38	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	a	専門家のアドバイスや各種助成事業の活用により、市内産品を活用した新たな商品や販路開拓に積極的に取り組む中小企業を支援します。	専門家派遣等による支援		継続	・商談会、展示会出展におけるレイアウト、POP、フードコーディネーター等の専門家派遣（商工団体） ・商品開発改善事業補助金による支援	-								補助事業の実施、専門家派遣による支援 輸出など市場開拓・拡大に向けた情報の収集・提供
39	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	b	農林産物や加工技術等の地域資源を活用した商品開発に対する各種支援を通じて、高付加価値商品の創出を目指します。	高付加価値商品の創出		継続	・商品開発改善事業補助金の継続実施 ・商工団体による専門家派遣	-								補助事業の実施、効果検証、見直し 経営指導員による支援、専門家派遣の活用
40	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	c	地域資源を活用した商品やサービスの競争力を高めていくことにより、魅力ある地域ブランドへと進展させます。	競争力のある地域ブランドの確立		継続	・商品開発改善事業補助金の継続実施 ・ふるさと納税の継続実施	-								補助事業の実施、効果検証、見直し 経営指導員による支援、専門家派遣の活用 ふるさと納税への出品促進
41	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	d	市内外の消費者に地元商品をPRし、生産者が商品価値を再評価できる場所や機会を提供する取り組みを検討します。	地元商品をPRする場所や機会提供の取組みの検討		継続	・商工団体がR3に2件イベントを実施	3-3_商店街イベント・マルシェの開催回数_市補助金対象（回）								イベントの開催・支援
42	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	e	空き店舗や空き地の活用促進、市バスなどとコラボしたイベントの開催などを支援することで、商店街の魅力向上や賑わいづくりにつなげます。	市バス等とのコラボによる商店街の活性化		継続	・チャレンジ支援補助金の加算により一部商店街の支援 ・R4～大橋商店街で山田ブギウギ祭りが開催されている（県商店街活性化推進事業活用）	3-3_商店街イベント・マルシェの開催回数_市補助金対象（回）								イベントの開催・支援

昇順	体系分類1 コード	体系分類1	体系分類2 コード	体系分類2	取組コード	取組	取組略称	重要課題位置づけ状況	第1次計画との関連	現状	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)		
43	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	f	消費喚起及び地域内の経済循環を促す目的で、プレミアム付き地域商品券の発行および利用を促進します。	プレミアム商品券の発行		継続	・嘉麻さいはっ券、カマデポの実施 ・R5プレミアム付き商品券の発行 ・地域通貨は未着手 ・R5事業よりデジタル化推進のため紙との補助率等を変更	-							プレミアム商品券発行など経済循環促進施策の検討・実施	
44	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	g	さらに、デジタル化に対応した地域通貨の導入についても調査研究を進めます。	地域通貨の導入に関する調査・研究		新規	・なし	-								協定 地域通貨等に関する調査研究
45	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	h	嘉麻市の高いマイナンバーカード普及率を踏まえ、デジタル技術を活用した新規製品サービスの開発実装に向けた取り組みを支援します。	デジタル技術による新サービス等の開発支援		新規	・支援なし	3-4_デジタルを活用し、新サービスを開始した企業数(件)								マイナンバーの普及促進 デジタル化推進のための個別支援、専門家派遣
46	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進(中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲))	a	市内中小企業の商品、技術、サービス等を紹介する展示会やイベントの開催の支援、事業者同士のマッチングを促進することで、新たな取引の創出につなげるとともに、市内産品製品の市民の活用を促します。(3-①-aの再掲)	新規取引及び市内産品活用の促進に関する支援		重 継続	・マルシェの開催・支援	4-5_企業マッチングの場の創設(件)								マルシェ等イベントの開催・支援
47	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進(中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲))	b	地域経済の活性化に資する情報等については、市の広報誌やホームページ閲覧等を積極的に活用して周知を行います。(3-①-bの再掲)	地域経済活性化に関する情報の市民等への提供		重 継続	・実施	-								情報発信の強化
48	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進(中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲))	c	異業種間交流や中小企業の事業連携を促進し、取引の拡大を目指します。(3-①-cの再掲)	取引拡大のための事業者間連携支援		重 継続	・商工団体、嘉麻市地域雇用活性化協議会によるセミナー ・誘致企業振興会等における交流	4-5_企業マッチングの場の創設(件)								異業種交流促進の検討 セミナー等の開催・支援
49	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進(中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲))	d	独自の技術ノウハウを持った創造的中小企業を育成するため、中小企業の経営革新計画/事業計画の策定を支援します。(2-③-aの再掲)	経営革新計画/事業計画の策定支援		重 継続	・商工団体が作成を支援	4-3_経営革新計画の策定事業者数(社)	(関連目標) 4-4_事業計画の策定事業者数の増							経営指導員等による支援
50	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進(中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲))	e	計画策定後も継続的なフォローアップを行うとともに、計画に位置付けた新たな取り組みへの支援策を導入します。(2-③-bの再掲)	計画策定後のフォローアップ及び新たな取組みへの支援		重 継続	・商工団体がフォローアップ等を実施(専門家派遣、経営指導員による適宜指導)	4-4_事業計画の策定事業者数(社)								経営指導員等によるフォローアップ
51	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進(中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲))	f	中小企業同士や誘致企業、スタートアップとのマッチングを行う異業種間交流の開催や産学官連携の支援によって、自社単独では困難な新商品サービス開発、およびその実現のための事業連携の機会などを提供することで、中小企業の販売力の向上や新たな分野への進出につなげます。	異業種交流や産学官連携の支援		重 改	・嘉麻市誘致企業振興会で企業間の交流を図っている ・一社 嘉飯桂産業振興協議会で情報提供事業、情報交流事業、人材育成事業を実施している(嘉麻市の業者数6社/全83社) ・R3商工団体報告において産学官連携の実績なし	-								誘致企業振興会における異業種交流や新規会員獲得のための施策の検討・実施 産学官支援の促進・支援 連携意向調査、支援策検討
52	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進(中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲))	g	福岡県工業技術センターにおける技術相談、受託研究、設備機器利用等を通じて中小企業の技術の高度化を支援します。	福岡県工業技術センターを活用した技術の高度化の支援		重 継続	・R2進捗状況では事業主体が商工団体になっていて、実績なし ・R3実績なし ・福岡県工業技術センターへの相談等は、企業が直接または商工団体を通じて行われている	-								情報提供、技術相談の支援
53	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進(中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲))	h	域内調達率の向上に資する市内/筑豊地域内の事業者同士の取引を増やすための、デジタルツールを活用した個別の企業マッチングの支援など具体的な提案を行います。(3-①-dの再掲)	(再掲)		重 新規	(再掲)	4-5_企業マッチングの場の創設(件)	(再掲)							情報収集 連携意向調査

昇順	体系分類1 コード	体系分類1	体系分類2 コード	体系分類2	取組コード	取組	取組略称	重要課題 位置づけ 状況	第1次計画との 関連	現状	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
54	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	②	地域資源を活用したツーリズムの振興	a	第3次嘉麻市観光振興基本計画(R4~R8)に基づき、豊かな自然環境、歴史に培われた文化、福岡県のほぼ中心という地理的優位性を生かし本市の魅力的な観光資源の活用と発掘を図り、デンマークのライフスタイルである「HYGGE(ヒュッゲ)」やSDGsへの取組みにより「住む人、訪れる人へ、心地いい時間と空間の継続的な提供」を行い、嘉麻ファンの獲得、市民のシビックプライドの醸成を目指します。	地域特性を活かしたツーリズムの振興		改	・第3次観光振興基本計画に基づく事業の実施	4-2_観光入込客数(千人/年) (関連目標) 4-1_全体観光消費額の増	・体験型、滞在型観光コンテンツの充実 ・アウトドアシティ嘉麻のブランディング ・組織体制の強化					
55	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	②	地域資源を活用したツーリズムの振興	b	アウトドア活動を基盤とする観光交流地域の創造を目指した『アウトドアシティ宣言』により「HYGGE」を基調とし嘉麻流アウトドアによる心地いい空間と時間の提供を取り入れたツーリズムの振興に取り組みます。こうした地域資源を活用したツーリズムの振興により、交流人口の拡大、ひいては観光消費額観光入込客数の増大に取り組みます。	観光拠点施設を活かした観光消費額の増大		改	・第3次観光振興基本計画に基づく事業の実施	4-1_全体観光消費額(千円) (関連目標) 4-2_観光入込客数の増	・体験型、滞在型観光コンテンツの充実 ・アウトドアシティ嘉麻のブランディング ・組織体制の強化					
56	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	②	地域資源を活用したツーリズムの振興	c	域内に製品サービスを提供する傾向が強い嘉麻市の中小企業にとって新たなビジネスチャンスとなるように、創業意欲の向上や、売上増加に対するアドバイスなど、地域の中小企業がビジネスチャンスを活かせる取り組みを支援します。	ツーリズム振興との相乗効果獲得の支援		改		4-4_事業計画の策定事業者数(社) (関連目標) 4-5_企業マッチングの場の創設(件)						
57	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	③	農商工連携の促進	a	中小企業と農林業者との連携を図り、本市の基幹産業の一つである農林業から生まれる一次産品に付加価値を付け、新たな商品開発を推進します。	一次産品に付加価値を付け、新たな商品開発を行うための支援	重	継続	・商品開発改善事業補助金の実施 ・R2キヨミドリの豆腐の開発 ・第2次食料・農業・農村基本計画(R5-R14)→「事業者は、農業者と連携して、地域農産物を使用した農産加工品開発に努め、嘉麻市の地域ブランド作りに務めます」		補助事業の実施、効果検証、見直し セミナー、専門家派遣等による支援					
58	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	③	農商工連携の促進	b	県や関係機関と連携し、商品開発の支援や、農林業者と商工業者とのマッチング等により農商工連携や6次産業化の取り組みを推進します。	農商工事業者のマッチング支援や6次産業化の支援	重	継続	・農商工連携の事例あり(農家×菓子製造)	4-5_企業マッチングの場の創設(件)		補助事業の実施、効果検証、見直し セミナー、専門家派遣等による支援				
59	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	③	農商工連携の促進	c	農林振興と中小企業振興の連携のあり方についての調査研究を行います。	農商工連携に関する調査・研究	重	新規	・タマネギを生産し、加工品向けに加工して出荷する形態がある。OEMでドレッシングなどを販売 ・市内の山田錦を使って清酒を製造、販売。市内の青果を使って菓子/弁当製造、販売。		調査研究					
60	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	a	UIターンによる市内企業への就職を促進するため、ハローワーク等の関係機関と協力して市内求人企業等の情報提供を行うとともに、嘉麻市地域雇用活性化協議会と連携し、求職者と市内企業とのマッチングの機会を提供します。即戦力となる人材を求める企業に向けては、中途採用経験者採用のための支援を行います。	市内企業への就職促進(マッチング支援)	重	改	・嘉麻市地域雇用活性化協議会による就職希望者相談会の実施 ・商工会議所では企業と求職者のマッチングは個別対応で実施(R3進捗報告より)	5-2_インターンシップ生受け入れ件数(件) (関連目標) 4-5_企業マッチングの場の創設	企業見学ツアー、各種セミナーの企画・開催					
61	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	b	地元企業への就職意欲を高めるため、中小企業や関係機関、小中学校や高等学校、大学等の教育機関との連携のもと、企業見学、職場体験、長期/短期インターンシップ等を推進します。	市内企業への就職促進(地域雇用推進)	重	改	・嘉麻市地域雇用活性化協議会による学生向け職場体験イベントの開催 ・筑豊地域インターンシップ推進協議会による近大学生の企業バスツアーの開催 ・商工会では広報誌、HPによる情報発信を実施(R3進捗報告より)	5-2_インターンシップ生受け入れ件数(件)	企業見学ツアー、各種セミナーの企画・開催					
62	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	c	行政・企業・大学との連携による長期インターンシップのあり方を検討する勉強会を開催します。	市内中小企業の魅力の発信	重	新規	・R3に実績8件(インターンシップ推進協議会による勉強会開催)	5-2_インターンシップ生受け入れ件数(件)	勉強会の企画・開催					
63	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	d	保護者や将来の働き手である生徒を含めた地域住民に対し、地元企業の認知度を高め、理解を深める機会を作ります。	市内中小企業の魅力の発信	重	新規	・R2進捗状況では広報誌による企業照会実績が記載 ・R3に実績12件(企業動画作成)	5-1_地域住民への地域企業の広報件数(件)	地域企業に関する広報の強化					

昇順	体系分類1 コード	体系分類1	体系分類2 コード	体系分類2	取組コード	取組	取組略称	重要課題 位置づけ 状況	第1次計画との 関連	現状	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)		
64	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	e	新卒学生の採用活動への支援を行います。	新卒採用活動の支援	重	新規	・高校生バスツアーを実施 ・今は、企業が大学の学生課などに個別に相談をしている ・嘉麻市地域雇用活性化協議会による就職相談会の実施	5-2_インターンシップ生受け入れ件数(件)							企業見学ツアー、各種セミナーの企画・開催	
65	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	f	市内にはアパート等の賃貸物件が少なく、人材確保時の一つのハードルになっているため、空き家バンク制度や空き市営住宅の利活用を検討します。	空き家バンクや空き市営住宅の利活用の検討	重	継続	・空き家バンク制度、転入者等住まい応援交付金、結婚新生活支援事業補助金など実施 ・企業からの相談に随時対応している	-							運用、手法の随時見直し	
66	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	②	技術・技能の継承	a	中小企業の従業員の技術技能習得のための支援や、関係機関によるセミナー等により、キャリアアップスキルアップにつながる機会の提供を支援します。	従業員の技術向上支援	重	継続	・嘉麻市産業振興協議会が協賛企業に対して支援(情報提供、情報交流、人材育成など) ・商工団体による巡回、窓口相談の実施 ・商工会では広報誌、HPによる情報発信しているが、周知方法に課題あり(R3進捗報告より) ・中小企業大学校への研修費は商工団体による助成がある ・中小企業大学校直方校が中小企業向け研修等を実施	5-3_中小企業大学校の直方校の年間研修受講者数(人)								情報提供、中小企業大学校の研修費助成
67	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	②	技術・技能の継承	b	次世代を担う若い世代の横の連携コミュニケーションを促進するための体制づくりを支援します。	若年世代のコミュニケーション体制づくりの支援	重	継続	・R2、R3進捗状況では実績なし(商工団体)	-								支援策の検討
68	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	②	技術・技能の継承	c	国や県、関係機関と連携し、技術技能の習得やキャリアアップのための情報提供を行います。	技術・技能の習得やキャリアアップのための情報提供	重	継続	・商工団体が実施中 ・R2進捗状況では商工団体が技能講習を行った実績を記載	5-3_中小企業大学校の直方校の年間研修受講者数(人)								情報発信の強化
69	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	③	安心して働ける労働環境の整備促進	a	中小企業の経営者や管理職等の意識改革を促すためのセミナーの開催や啓発のための広報活動を展開するなど、ワークライフバランスを推進する企業への支援に取り組みます。	ワークライフバランス推進企業の意識改革支援	重	継続	・企業からの相談に随時対応 ・広報誌やホームページによる企業紹介 ・商工会議所では労働環境改善のための助成があり、周知するが活用実績なし(R3進捗報告より)	-								関係機関との連携・協議 啓発冊子の配布や出前講座等の実施
70	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	③	安心して働ける労働環境の整備促進	b	家事育児との両立を目指す女性等の雇用を創出するとともに、中小企業の業務生産性や効率性を高めるため、テレワークの拡大を目指します。	子育て世代の雇用の創出とテレワークの拡大	重	継続	・企業からの相談に随時対応	-								関係機関連携協議
71	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	③	安心して働ける労働環境の整備促進	c	女性の活躍推進を行う企業の「えるばし認定」、出産育児の支援体制のある子育てサポート企業の「くるみん認定」、福岡県の「よかばいかえるばい企業」や「子育て応援宣言企業」、「介護応援宣言企業」等の登録に向けた情報発信や、イクボス研修等の各種セミナーの案内により、女性が活躍することをはじめ、魅力のある安心して働ける労働環境の整備促進を目指します。	働きやすい職場環境の整備促進(子育て世代の活躍)	重	新規	・各認定を受ければ補助金のポイント加算などメリット措置がある ・対象事業者は全国でも少ない	-								随時相談対応、情報提供、補助事業等の活用支援
72	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	③	安心して働ける労働環境の整備促進	d	女性に加え、高齢者、外国人、障がい者など、多様な人材が安心して働き、活躍できる職場環境の整備を支援していきます。このことで、企業における人手不足などの課題解決につなげます。	働きやすい職場環境の整備促進(さまざまな人材の活躍)	重	新規	・企業からの相談に随時対応 ・各機関による支援 →福岡県生涯現役チャレンジセンター(飯塚オフィス)、福岡県外国人材受入企業相談窓口、公共職業安定所など ・嘉麻市誘致企業振興会として人材確保事業によるパンフレットを作成	-								随時相談対応、情報提供、補助事業等の活用支援
73	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	③	安心して働ける労働環境の整備促進	e	また、副業の解禁や、2居住拠点を可能とするリモートワークなどの柔軟な働き方が、企業における人手不足の課題解決に寄与しうることを念頭に、企業の新たな働き方に関する調査研究を行います。	新しい働き方に関する調査・研究	重	新規	・嘉麻市地域雇用活性化協議会による2居住拠点のモニターツアーを実施(どちらかというに移住に近いイメージ) ・会社間の繁閑期における人材派遣について、かつて企業から話を聞いたことがあるが、進んでいない	-								調査企画、調査研究報告
74	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	①	事業計画策定及び円滑な資金調達の支援	a	商工団体の経営指導員等による巡回指導や窓口相談を通じて、小規模企業者の経営革新計画/事業計画の策定を支援するなど、伴走型支援を行います。	事業計画の策定支援		改	・商工会が経営発達支援計画の認定を受けて伴奏型小規模事業者支援推進事業を実施	6-1_商工会・商工会議所の相談・指導件数(件)	(関連目標) 6-2_経営革新計画の策定事業者数の増 6-3_事業計画の策定事業者数の増							経営指導員等による計画策定支援
75	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	①	事業計画策定及び円滑な資金調達の支援	b	計画策定後も継続的なフォローアップを行うとともに、計画遂行に必要な情報提供などの支援を行います。	計画策定後のフォローアップ及び情報提供		継続	・商工団体が実施中	6-3_事業計画の策定事業者数(社)	(関連目標) 6-2_経営革新計画の策定事業者数の増							経営指導員等によるフォローアップ及び情報提供

昇順	体系分類1 コード	体系分類1	体系分類2 コード	体系分類2	取組 コード	取組	取組略称	重要課題 位置づけ 状況	第1次計画との 関連	現状	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
76	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	①	事業計画策定及び円滑な資金調達の支援	c	国、県の低利融資制度や日本政策金融公庫が取り扱う小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の活用により、小規模企業の金利負担の軽減を図ります。	国、県等の低利融資の活用の促進		継続	・金融機関や国・県による各種事業の実施、商工団体による申請支援 ・市によるセーフティネット認定	6-1_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		情報提供や窓口相談の実施				
77	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	a	商工団体の経営指導員等による巡回指導や窓口相談を通じて、収益力を向上し持続的な経営を行うためのノウハウの習得など、小規模企業の実産性向上を支援します。	巡回指導等による生産性向上支援（ICT活用）		継続	・商工団体が小規模事業者を対象とした面談等で支援	6-1_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		巡回指導や窓口相談の実施、セミナーの企画・開催				
78	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	b	インターネット通販をはじめ ICT の活用を促進し、提供する商品やサービスが地域の消費に依存している小規模企業の域外への販路開拓を支援します。	巡回指導等による域外販路開拓支援（ICT活用）		継続	・商工団体が講習会等で実施中	-		巡回指導や窓口相談の実施、セミナーの企画・開催				
79	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	c	情報通信技術の研修機会の提供を通じて、ホームページの開設やネットビジネスの展開等、中小企業のデジタル化を促進します。	研修機会の提供によるデジタル化の促進		新規	・商工団体が講習会等で実施中 ・嘉麻市地域雇用活性化協議会で実施計画（デジタルによる新規顧客拡大セミナー、PRセミナー、採用力強化セミナーなど） ・R5デジタルまつり	6-4_補助金利用数_デジタル化促進支援（件）		セミナー・イベントの企画・開催				
80	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	d	企業のデジタル化は、経営者の経営判断が速くなること、業務効率の改善により生産性の向上、人手不足の解消や従業員の負担軽減、デジタル化された他社と繋がることによる導入効果の増大などが期待されるため、今後の取り組みが必要となります。	企業のデジタル化の支援		新規	・商工団体の巡回指導等の実施 ・経営革新計画遂行支援事業でデジタル化を支援	2-2_企業におけるデジタル化進捗割合（%）	（再掲）	巡回指導、補助事業の実施、行政サービスのデジタル対応の				
81	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	e	中小企業のデジタル化の促進を支援することで、社内の生産性の向上だけでなく、将来的には新たな価値の創造につながる取り組みを行います。（2-①のaの再掲）	（再掲）		新規	（再掲）	6-5_個人事業者におけるデジタル化進捗割合（%）	（再掲）	巡回指導や窓口相談の実施				
82	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	f	嘉麻市および商工団体において、経営におけるデジタル化の必要性の啓発を行います。（2-①のbの再掲）	（再掲）		新規	（再掲）	6-5_個人事業者におけるデジタル化進捗割合（%）	（再掲）	経営指導員等による支援及びフォローアップ 情報発信の強化、アンケート・進捗調査の実施				
83	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	g	嘉麻市として、デジタル化促進の取り組みを支援する補助金制度を設けます。（2-①のcの再掲）	（再掲）		新規	（再掲）	6-4_補助金利用数_デジタル化促進支援（件）	（再掲）	補助事業の実施、効果検証、見直し				
84	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	h	デジタル化の促進に向け、商工団体および嘉麻市において、成功先進事例などの情報提供を行います。（2-①のdの再掲）	（再掲）		新規	（再掲）	6-5_個人事業者におけるデジタル化進捗割合（%）	（再掲）	成功事例の調査、情報提供の強化				
85	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	i	商工団体や福岡県、嘉麻市の持つデジタル化促進に向けた相談窓口の紹介を行います。（2-①のeの再掲）	（再掲）		新規	（再掲）	6-5_個人事業者におけるデジタル化進捗割合（%）	（再掲）	相談に応じて適宜対応				
86	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	③	その他小規模企業者の事業の持続的な発展を図るために必要な施策	a	様々な経営課題にワンストップで対応できる相談窓口を設置し、個別の相談指導を行うとともに、必要に応じてより専門性の高い支援機関や各種専門家を紹介するなど、商工団体と連携し伴走型支援体制を強化します。	ワンストップ相談窓口の設置や専門家派遣の支援		継続	・商工団体が経営全般の支援を実施 ・必要に応じて専門家派遣を実施することでワンストップを実現	6-1_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		巡回指導や窓口相談の実施				

デジタル化に関する中小企業者アンケート企画書 案

令和 5 年 12 月 4 日

1 背景	<p>生産年齢人口の減少や高齢化の進展により、労働力不足、地域経済・産業の担い手不足、国内需要の減少による経済規模の縮小など、社会的・経済的課題の深刻化が懸念される。</p> <p>このような課題を解決するためには、労働生産性の向上、労働参加の拡大などに向けた取組が必要であり、デジタルが果たす役割に期待が寄せられている。</p> <p>第2次嘉麻市中小企業振興基本計画の策定のため令和4年度に実施した中小企業者向けアンケート結果により、本市のデジタル化の対応のおくれが判明したため、これを推進するための取組が必要となっている。</p>
2 調査目的	<p>デジタル化に関するアンケートを実施・活用することで、「12. 基本計画との関連」に記載する基本計画上のデジタル化の推進に関する目標値の設定を行うとともに、推進施策の効率的な実施を図る。</p>
3 把握内容	<p>(属性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種、従業員数 など <p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の進捗の現状 ・会計システムとインボイス制度への対応 <p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化計画の有無（投資計画、人材育成など） ・デジタルの導入意向 ・デジタル化に関して必要な支援、活用したい補助事業、情報取得方法 <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の進捗の目標 ・デジタル化によって実現した事例（新規取組、新規事業など） ・デジタル化によって実現したい目標 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の共有の可否（産業振興課内、商工団体） ・今後のヒアリング調査への同意 ・企業誘致に関連する事項（企業間連携の意向や大企業との連携）

4 調査対象	<p>「令和4年度に実施した第二次嘉麻市中小企業振興基本計画策定に関するアンケート対象者」のうち、市内の中小企業者に分類される事業者 アンケート発送数：732件（郵送638件、メール94件）</p> <p>（参考 令和4年度アンケート） アンケート調査期間：令和4年7月7日(木)～29日(金) アンケート発送数：850件（うち宛先不明2件未着） アンケート回答数：305件 35.8%（郵送244件、web 61件） ※うち有効票 276件 32.4%（郵送224件、Web52件） （無効としたもの：市外事業者、非営利組織など）</p>													
5 調査地域	市内全域													
6 調査時期	令和5年12月～1月													
7 調査対象者の名簿	産業振興課が保有する中小企業者等名簿 （令和4年度アンケート調査の対象者）													
8 調査方法	<p>郵送、オンラインのハイブリット方式 ※できるだけオンライン回答を促す</p> <table border="1" data-bbox="405 1128 1075 1335"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="2">回答（事業者）</th> </tr> <tr> <th>郵送</th> <th>WEB</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">発送 (市)</th> <th>郵送</th> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>メール(※1)</th> <td>×</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 令和4年度調査の回答書にメールアドレスを記載した事業者 （前回WEB回答：41件 郵送回答：77件）</p> <p><予算></p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算は企業誘致促進支援事業委託料からの流用を検討 ・返信用封筒は外注（8/23見積） <p>（最大郵便料試算）</p> <p>①発送 定形外郵便 100g以内 140円×638件=89,320円 ②返送 定形郵便 25g以内 84円×638件=53,592円 料金後納手数料 20円×638件=12,760円 返信用封筒作成費用 29円×700通=20,300円 ①+②=175,972円</p>			回答（事業者）		郵送	WEB	発送 (市)	郵送	△	○	メール(※1)	×	◎
				回答（事業者）										
		郵送	WEB											
発送 (市)	郵送	△	○											
	メール(※1)	×	◎											

9 サンプル抽出方法	－
10 サンプルサイズ	N=732 件
11 質問項目	19 問 ・WEB 版では 10 分以内に回答可能と推測
12 基本計画との関連	<p><本調査後に目標値を設定する必要があるもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金利用数（件）（デジタル化促進支援） ・デジタルを活用し、新サービスを開始した企業数（件） ・個人事業者におけるデジタル化進捗割合（％）* ・企業におけるデジタル化進捗割合（％）* <p>*進捗割合：全回答者に占めるデジタル化が「ある程度」～「かなり」進んでいると回答した事業者の割合。（R4 参考値 38.7%）</p> <p><計画に明記された具体的な施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツールを活用した企業マッチング支援などの提案 ・デジタル化に対応した地域通貨の導入に関する調査研究 ・デジタル技術を活用した新規製品・サービスの開発・実装に向けた取り組みを支援 ・デジタル化の促進を支援することで、社内の生産性の向上だけではなく、将来的には新たな価値の創造につながる取組につなげる ・嘉麻市および商工団体において、経営におけるデジタル化の必要性の啓発 ・嘉麻市として、デジタル化促進の取り組みを支援する補助金制度を創設 ・デジタル化の促進に向け、商工団体および嘉麻市において、成功・先進事例などの情報提供 ・商工団体や福岡県、嘉麻市の持つデジタル化促進に向けた相談窓口の紹介
13 その他特記事項	<p><デジタル化進捗割合の評価に係る調査></p> <p>対象：R5 調査と同じ事業者</p> <p>調査頻度：隔年（R5 本調査、R7 中間評価、R9 最終評価）</p>

<今後の予定>

- ・審議会（実施方針、スケジュール等）
- ・アンケート配布（12月～） → 回答受領（1月上旬） → 集計・分析
 - 審議会（～2月中旬）（調査結果速報、目標値設定）
 - 調査報告書作成 → 審議会（調査報告書確認） → 調査報告書の公表

郵送用

第2次嘉麻市中小企業振興基本計画
事業者アンケートへのご協力のお願い

●●の候、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より本市の産業振興行政にご理解とご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

さて、本市では、中小企業の振興を市政の重要課題のひとつと位置づけ、その総合的かつ計画的な推進を実現するため、令和5年3月に、「第2次嘉麻市中小企業振興基本計画」を策定しました。

本計画における重点施策のひとつに「中小企業のデジタル化の促進¹」を掲げており、本年度においては、その実態をアンケート調査により把握することとしています。

つきましては、デジタル化の推進に関する具体的な施策に結び付けていきたいと考えておりますので、ご多用中のところ恐縮ではございますが、本アンケートへのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年●月

嘉麻市長 赤間 幸弘

¹ デジタル化の促進・・・アナログデータをデジタルデータに変換・活用することによって、業務の効率化や新たな価値を生み出す取り組み

アンケートへのご回答について

- ・各項目について、感じたままにお気軽にお答えください。
- ・本調査について不備等がありましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
- ・【①電子回答】または【②書面回答】のいずれかの方法にてご回答ください。
- ・〇月〇日までのご回答(投函)をお願いします。

【①電子回答】

ご自身のスマートフォン等から QR コードを読み込むか、下の URL からお進みいただき、フォームに従ってご回答ください。



【②書面回答】

別紙アンケート用紙により、ご回答ください。
回答が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの調査票を入れ、切手を貼らずに投函してください。

<お問い合わせ先>

嘉麻市役所 産業振興課商工係

担当：尾籠

電話：0948-42-7453

ファックス 0948-42-7096

メール：shoko@city.kama.lg.jp

メール用

※令和4年度に実施した第2次中小企業振興基本計画策定のためのアンケート調査にご回答いただいた事業者のうち、メールアドレスをご記入いただいた事業者には、電子メールでご案内をしております。

第2次嘉麻市中小企業振興基本計画
事業者アンケートへのご協力をお願い

●●の候、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より本市の産業振興行政にご理解とご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

さて、本市では、中小企業の振興を市政の重要課題のひとつと位置づけ、その総合的かつ計画的な推進を実現するため、令和5年3月に、「第2次嘉麻市中小企業振興基本計画」を策定しました。

本計画における重点施策のひとつに「中小企業のデジタル化の促進¹」を掲げており、本年度においては、その実態をアンケート調査により把握することとしています。

つきましては、デジタル化の推進に関する具体的な施策に結び付けていきたいと考えておりますので、ご多用中のところ恐縮ではございますが、本アンケートへのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年●月

嘉麻市長 赤間 幸弘

¹ デジタル化の促進・・・アナログデータをデジタルデータに変換・活用することによって、業務の効率化や新たな価値を生み出す取り組み

アンケートへのご回答について

<アンケートの回答>

- ・各項目について、感じたままにお気軽にお答えください。
- ・本調査について不備等がありましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
- ・●月◎日()までに【①電子回答—WEB版】または【②電子回答—Word版】のいずれかの方法にてご回答ください。

【①電子回答—WEB版】

ご自身のスマートフォン等から QR コードを読み込むか、下の URL からお進みいただき、フォームに従ってご回答ください。



【②電子回答—Word版】

Microsoft Word をインストールしたパソコンなどから必要事項を入力し、そのデータファイルをご送信ください。

また、画像データに変換した手書き調査票をご送信いただいても構いません。

→ shoko@city.kama.lg.jp

<お問い合わせ先>

嘉麻市役所 産業振興課商工係

担当：尾籠

電話：0948-42-7453

ファックス 0948-42-7096

メール：shoko@city.kama.lg.jp

アンケート調査票

資料3 - 3

令和5年 月 1日現在の状況をご記入ください。所要時間は10分程度です。

Q1. あなたの事業について教えてください

1-1 種別・社名等

1	法人	2	個人		
社名・屋号		代表者氏名			
会社所在地		〒	市・町	番地	電話番号
担当者	氏名・部署				
	メールアドレス				

1-2 主な業種 (直近1年間において最も売上が多い業種) ※該当する番号1つに○

1	建設業	2	製造業	3	情報通信業
4	運輸業	5	卸売業	6	小売業
7	宿泊・飲食業	8	サービス業	9	教育・学習支援業
10	医療・福祉関連業	11	その他()		

1-3 従業員数(代表者・役員を除く) ※該当する番号1つに○

1	1~5人	2	6~10人	3	11~15人
4	16~20人	5	21~50人	6	51人~

1-4 直近1年間における売上高 ※該当する番号1つに○

1	300万円未満	2	300万円~1千万円未満	3	1千万円~5千万円未満
4	5千万円~1億円未満	5	1億円~5億円未満	6	5億円以上

1-5 会計処理方法(デジタルの活用状況) ※該当する番号1つに○

1	活用あり(会計ソフトの活用、領収書の電子保存、電子申告 など)
2	活用なし(紙の帳簿、手書きの領収書 など)

1-6 会計処理方法(記帳方法) ※該当する番号1つに○

1	単式簿記(「収入」と「支出」の内容を細かに区別しない簡易な帳簿付け)	2	複式簿記
---	------------------------------------	---	------

1-7 インボイス制度の申請状況 ※該当する番号1つに○

1	申請済	2	申請する予定	3	申請しない予定
---	-----	---	--------	---	---------

Q2. 業務におけるデジタル化について教えてください

2-1-1 業務に使用するデジタル端末の有無

1 端末あり	2 端末なし
--------	--------

2-1-2 使用する端末の種類 ※前問で1. 端末ありを選択された方のみお答えください

※該当する番号すべてに○

1	スマートフォン	2	タブレット端末	3	パソコン
4	その他()				

2-2-1 デジタル推進のための人員の確保状況 ※該当する番号1つに○

1 いる(または確保予定)	2 いない
---------------	-------

2-2-2 確保しているデジタル人材 ※前問で1. いる(または確保予定)を選択された方のみお答えください

※該当する番号すべてに○

1	内部人材(本務)	2	内部人材(兼務)	3	外部人材(商工団体の経営指導員)
4	外部人材(顧問契約)				
5	その他()				

2-3 事業計画への位置づけ ※該当する番号1つに○

1	事業計画があり、デジタル化に関する記述がある (具体的に:)
2	事業計画はあるが、デジタル化に関する記述はない
3	明文化した事業計画がない

2-4 デジタル化の進捗状況 ※該当する番号1つに○

1	かなり進んでいる	【デジタル技術の導入により得られたデータによる全社的なビジネスモデルの転換や新製品・新サービスの創出を実施している状態】
2	進んでいる	【デジタル技術の導入により得られたデータによる全社的な業務改善を実施している状態】
3	ある程度進んでいる	【業務・生産管理に対するデジタル技術の導入を実施している状態】
4	あまり進んでいない	【連絡に電子メールを使用、会計処理・給与計算・売り上げ日報などにパソコンを利用するなど、アナログからデジタルに移行を始めた状態】
5	全く進んでいない	【受発注など、業務に関して紙や口頭でのやり取りが中心であり、デジタル化による業務の効率化は図られていない状態】

2-5-1 個別の取組状況と目標 ※行ごと該当するもの1つに☑

項目	1)導入済	2)導入したい	3)導入しない	4)わからない
a 文書の電子化・電子決裁	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b EC サイト(電子商取引)、ネット通販	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c 電子決済(ネット決済、キャッシュレス決済含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d 勤怠管理・給与計算システム	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
e 会計システム	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
f 会議システム(Zoom など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
g グループウェア・チャットツール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
h SFA(営業支援システム)、CRM(顧客管理システム)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
i ERP(統合基幹業務システム)、RPA(業務プロセス自動化ツール)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
j 工程管理システムの導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
k BI ツール・ビッグデータの導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
l AI 活用(需要予測、製品開発など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
m リモートワークの導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
n その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2-5-2 デジタル化の導入により得られた効果 ※2-5-1 で1)導入済と回答された方のみお答えください

※上の a~n で「導入済」を選択した項目について、該当する欄すべてにそれぞれ分類してください。	1)効果がある	2)どちらともいえない	3)効果がない
(記入例) 1)xxの向上		a,b	c,d,e
2)xxの削減	a	b,c	d,e
1)業務プロセスの改善、生産性向上			
2)業務にかかわる人数や労働時間の削減			
3)顧客数や顧客単価、顧客満足度などの向上			
4)新規事業や新サービスの創出			
5)経営意思決定の迅速化、高度化			
6)SDGs、地域活性化などの社会課題解決への貢献			
7)先端技術の採用などによるブランド価値の向上			
8)商品・サービスの市場投入に要する期間の短縮			

2-5-3 デジタル化の導入により得られた効果への総合的な評価 ※該当する番号1つに○

※2-5-1 で1)導入済と回答された方のみお答えください

1	とてもよい	2	まあよい	3	どちらともいえない	4	あまりよくない	5	よくない
---	-------	---	------	---	-----------	---	---------	---	------

2-6 デジタル化に関する情報提供(研修、事業など。)があれば、受取りをご希望しますか

※該当する番号1つに○

1	希望する	2	希望しない	3	わからない
---	------	---	-------	---	-------

2-7 アンケートに関する情報を関係者と共有することにご同意いただけますか

※該当する番号1つに○ ※関係者:市産業振興課、商工団体

1	同意する	2	同意しない
---	------	---	-------

2-8 市の職員がアンケート内容についてヒアリングさせていただく場合、ヒアリング(電話、現地など)にご協力

いただけますか ※該当する番号1つに○

1	協力してもよい	2	協力できない	3	わからない(内容による)
---	---------	---	--------	---	--------------

Q3. 企業間連携への関心について教えてください

3-1-1 企業等との連携に関する興味 ※該当する番号1つに○

1	興味がある	2	興味がない	3	わからない
---	-------	---	-------	---	-------

3-1-2 具体的に、どのような連携に興味がありますか

※3-1-1 で1)興味があると回答された方のみお答えください

★次の相手と ※該当する番号すべてに○

1	事業に関連する事業者	2	異業種(農林)	3	異業種(福祉)
4	大学等の教育機関	5	行政機関	6	(公財)福岡県中小企業振興センターなど
7	その他()				

★次の取組をすることに興味がある ※該当する番号すべてに○

1	販路の共有	2	設備の共有	3	ノウハウの共有
4	人材資源の共有	5	共同仕入れ	6	原材料の融通
7	販路開拓	8	流通の合理化	9	一部業務の委託
10	企業の合併・買収	11	事業の譲渡・承継	12	新サービス・新商品の開発
13	共同研究	14	地域貢献の活動	15	災害時等の代替品の確保
16	その他()				

Q4. デジタル化や企業間連携などについて、自由にお考えをお書きください

4 自由記述欄

例: デジタル化には興味があるが、人材がいないし、分からない。
具体的な提案があれば話を聞いてみたい。 など

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

アンケート2-5-1 用語の解説

用語	用語の解説	事例
a 文書の電子化・電子決裁	<p><文書の電子化></p> <ul style="list-style-type: none"> 紙媒体の文書などを電子データ（文書ファイル、画像データなど）で保存すること <p><電子決裁></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の意思決定に関する承認経過を電子データで完結させるための仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 紙媒体の書類などを画像データ（デジタル）に変換して管理することで、物理的な保存場所を必要としなくなり、データの検索効率の向上、電子メールの活用と併せた情報共有の効率化やコスト削減に効果がある 署名や押印が不要となる電子決裁と併せて、リモートワークなど柔軟な働き方の実現にも効果がある <p>※リモートワークはmで説明</p>
b ECサイト（電子商取引）、ネット通販	<p><ECサイト></p> <ul style="list-style-type: none"> ネット通販（インターネットを通じて商品やサービスを購入する形態の商取引）の形態のひとつで、インターネット上で行われる商取引のためのウェブサイト 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者は、インターネット上から24時間いつでもどこでも商品を検索、比較、選択し、購入することが可能 販売事業者は、広範な客層に対して販売機会を得られ、さらにそこで集まった顧客データを活用することでマーケティング効果も期待できる
c 電子決済（ネット決済、キャッシュレス決済含む）	<ul style="list-style-type: none"> クレジットカードやスマートフォンを使って行う、現金通貨によらない決済方法 消費者としては、現金不要の利便性の良さ、決済サービス事業者からのポイント還元などの恩恵があり、日本全体におけるキャッシュレス支出額は増加中（2010年：13% → 2022年：36%） 	<ul style="list-style-type: none"> 現金を管理する手間を省けるほか、現金の盗難対策、顧客満足度の向上や販売機会損失の回避などの効果を期待できる
d 勤怠管理・給与計算システム	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の出勤状況や休暇取得状況などを一元管理し、そのデータを基に給与を算定するための仕組み 勤怠データと給与計算システムとを連動させ、基本給や残業代や休日出動手当、交通費等を計算して給与を算出できる 	<ul style="list-style-type: none"> 給与算定に関する人為的ミスの削減、超過勤務の早期把握や正確な税額計算などによる労働法規の遵守に効果がある 部門ごとの労働時間の投入に関する分析などが可能
e 会計システム	<ul style="list-style-type: none"> 会計プロセス（取引の記録、仕訳、財務資料の作成など）を自動化し、会計情報を管理する仕組み クラウド版（インターネット上でデータを保存/編集が可能）では、遠隔地にいる役員や税理士と最新情報の即時共有が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 企業の財務情報を即時かつ正確に把握し、迅速な経営判断を行うことができる 日々の仕訳や財務資料作成のための手間が大きく削減されるほか、人為的なミスの減少も期待できる 個人事業においても導入効果は高い
f 会議システム	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔地の相手と、パソコンなどの画面を通して対面型コミュニケーションをとるための仕組み（テレビ電話、ビデオ通話） 資料や映像などを相手と共有することで、より深いコミュニケーションも可能 1対1での面談のほか、1対多のセミナー、多対多の会議などで活用される 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットに接続できる環境があれば、地方/都市や自宅/会社など居場所を問わずコミュニケーションをとることができるため、新たな顧客の獲得や専門性の高い人材の確保などが期待される 人の移動が減ることで、移動にかかる時間や旅費の削減、環境負荷の軽減などの効果もある
g グループウェア・チャットツール	<p><グループウェア></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の内部情報（事業の進捗管理、資料、スケジュールなど）を一元管理するための仕組み <p><チャットツール></p> <ul style="list-style-type: none"> 文字情報などを会話のようにやりとりするための仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の一元化と伝達の簡便化により、内部情報の共有や発信が容易となり、業務の効率化などに効果がある
h SFA（営業支援システム）、CRM（顧客管理システム）	<p><SFA（Sales Force Automation）></p> <ul style="list-style-type: none"> 営業活動によって得られた情報（顧客情報、商談履歴、営業実績など）を一元化する仕組み 営業の効率化や生産性向上を目指す <p><CRM（Customer Relationship Management）></p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客との良好な関係を築き、その結果をビジネスに結びつけるための仕組み ネットワークやデータベースを活用して顧客のニーズや行動を把握し、最適なサービスや商品を提供することを目指す 	<p><SFA（Sales Force Automation）></p> <ul style="list-style-type: none"> 営業に関わる各種情報の活用により、営業活動の効率化、生産性向上、労働時間/コストの削減、新たな営業活動の企画立案の検討などに効果がある <p><CRM（Customer Relationship Management）></p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客の行動履歴や好みを一元管理することで、ニーズを的確に把握したり、一貫性があり満足度の高い対応が可能となる 顧客の志向性をつかむことで、次の販売機会の提供につなげることができ、長期的な関係性を保つことも期待される
i ERP（統合基幹業務システム）、RPA（業務プロセス自動化ツール）	<p><ERP（Enterprise Resource Planning）></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の基幹業務（経理、人事、販売、生産、在庫管理など）を一元管理し、運営するための仕組み 部門間の情報の重複をなくし、効率的な企業運営が可能 <p><RPA（Robotic Process Automation）></p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータ上で行われる業務を自動化する技術 請求書の作成やメールの自動送信など、定型化された業務を自動化することができる 	<p><ERP（Enterprise Resource Planning）></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業内の基幹業務に関する情報を一括で管理できるため、情報の不整合が少なくなり、業務の効率化を図ることができる <p><RPA（Robotic Process Automation）></p> <ul style="list-style-type: none"> 人間がコンピュータ上で行う作業を自動化（ロボット化）することで24時間稼働が可能となり、労働時間や人的ミスの削減、業務の効率化などに効果がある
j 工程管理システムの導入	<ul style="list-style-type: none"> 製造業などにおける生産工程を管理するための仕組み 製品の製造進行状況や、製造予定、資材の在庫管理などを一元的に管理する 	<ul style="list-style-type: none"> 工程管理、在庫管理、品質管理などの情報を一元化することで、それぞれが連動し、製造スケジュールの高精度化、生産工程の可視化などが可能となる
k BIツール・ビッグデータの導入	<p><BIツール（Business Intelligence tools）></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の経営情報を可視化し、意思決定に役立てるための仕組み 企業活動などから得た「大量/多様なデータ（ビッグデータ）」を分析し、グラフの作成や予測の分析などを行う 	<p><BIツール（Business Intelligence tools）></p> <ul style="list-style-type: none"> ビッグデータを効率的に分析し、グラフなどの形で可視化できることから、経営判断の根拠とすることができる 顧客行動の予測、製品開発の方向性、マーケティング戦略の策定、リスク管理など、高度な意思決定に役立つ
l AI活用（需要予測、製品開発など）	<ul style="list-style-type: none"> AI（Artificial Intelligence：人工知能） 人間が示す知的な行動をコンピュータによって実現するための技術 機械学習や深層学習などの技術を通じて、人間の知識や経験を学び取り、自己判断を行う 近年では、音声認識機能を持つスマートスピーカー、文字形式で対話可能なチャットAI、AIとプロの将棋対局など広く認知されてきている 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の購買データ、季節や天候、価格変動など様々な要素からパターンを見つけ出し、需要を予測することで、過剰在庫や品切れのリスクを減らし、精度の高い在庫管理が可能 製品開発では、消費者の反応や市場のトレンドを分析し、最適な製品設計や価格設定を推測することに利用できる 試作品の設計やテストの自動化も可能にし、開発速度を早め、コスト削減にも効果がある
m リモートワークの導入	<ul style="list-style-type: none"> Remote（遠隔）とWork（働く）を組み合わせた造語 インターネットやパソコンなどを使い、事務所から離れた遠隔地で働く勤務形態 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の通勤時間を減らしたり、事務所の面積を縮小したりできるようになる その柔軟な働き方から、ワークライフバランスの実現や、多様な人材の能力の活用にも注目される

代表的な効果（取組×効果）

		効果							
		1	2	3	4	5	6	7	8
取組	a 文書の電子化・電子決裁	○	○		○	○			
	b ECサイト（電子商取引）、ネット通販		○	○	○	○	○	○	○
	c 電子決済（ネット決済、キャッシュレス決済含む）	○	○	○				○	
	d 勤怠管理・給与計算システム	○	○		○	○			
	e 会計システム	○	○		○	○			○
	f 会議システム	○	○	○	○	○	○		○
	g グループウェア・チャットツール	○	○	○	○	○			○
	h SFA（営業支援システム）、CRM（顧客管理システム）	○	○	○	○	○		○	○
	i ERP（統合基幹業務システム）、RPA（業務プロセス自動化ツール）	○	○	○	○	○	○	○	○
	j 工程管理システムの導入	○	○	○	○	○	○	○	○
	k BIツール・ビッグデータの導入	○	○	○	○	○	○	○	○
	l AI活用（需要予測、製品開発など）	○	○	○	○	○	○	○	○
	m リモートワークの導入	○	○		○	○	○	○	○

- 1) 業務プロセスの改善、生産性向上
- 2) 業務にかかわる人数や労働時間の削減
- 3) 顧客数や顧客単価、顧客満足度などの向上
- 4) 新規事業や新サービスの創出
- 5) 経営意思決定の迅速化、高度化
- 6) SDGs、地域活性化などの社会課題解決への貢献
- 7) 先端技術の採用などによるブランド価値の向上
- 8) 商品・サービスの市場投入に要する期間の短縮

1. 嘉麻市が独自に実施する商工関連制度（商工係所管）

事業名	概要	補助対象経費	対象者・補助率
嘉麻市商品開発改善事業補助金 https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/20/30752.html 	市内において製造・加工・サービスの提供がおこなわれ、かつ、本市の魅力を発信する効果が高く、嘉麻市ふるさと納税返礼品に登録される（見込みのある）商品の開発等に要する経費の一部を支援するもの。	(1)対象商品の開発に要する経費 (2)対象商品のパッケージ・ラベル等の作製に要する経費 (3)開発を行った対象商品の販売促進に係る広告・宣伝に要する経費	市内で生産、製造、加工、サービスの提供を行う事業者 2/3以内（上限20万円）
嘉麻市商業店舗リフォーム補助金 https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/20/30751.html 	市内で小売業、飲食業、サービス業が営まれている店舗の増築や修復に要する経費の一部を支援するもの。 ※同一申請者につき1回限り交付	(1)店舗の増築、(2)屋根の修復、(3)床材・内壁・天井の張替え、(4)内装の塗装、(5)襖・障子・網戸・畳の張替え、(6)床・窓・天井等の断熱に関するもの、(7)外壁の塗り直し、(8)扉・窓ガラスサッシの交換、(9)ドアの電動化、(10)店舗間仕切りの変更、(11)看板・サイン類の設置、(12)床・内装・天井クロスの張替え・塗替え、(13)厨房の改修、(14)給排水や衛生設備に関するもの、(15)給湯設備に関するもの、(16)電気ガスに関するもの、(17)空調に関するもの、(18)客用の洗面・トイレ・水周りの改修	市内で事業を営む小規模企業者（従業員5人以下の事業者等） 1/2以内（上限50万円）
嘉麻市中小企業経営革新計画遂行支援事業補助金 https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/20/31823.html 	市内で事業を営む事業者が経営革新計画またはデジタル化計画に従って行う事業を実施するために要する経費の一部を支援するもの。	(1)県知事等の承認を受けた経営革新計画の経営革新に基づき、新商品開発等の新たな事業を行う場合に要する経費 (2)商工団体の承認を受けたデジタル化計画に基づき、業務の効率化及び生産性の向上を図る事業を行う場合に要する経費	市内で事業を営む事業者 1/2以内（上限10万円）
嘉麻市移住・定住起業チャレンジ支援事業費補助金 https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/20/2357.html 	市内において新たに起業（事業を営んでいない個人が新たに事業を開始するものまたは既存事業を承継するもの。）するために要する経費の一部を支援するもの。	(1)店舗等の建築費、取得費及び改修費 (2)店舗、駐車場の賃借料 (3)広告宣伝費 (4)起業に必要な設備費、備品購入費等	市内で起業する個人（農林業、金融業、病院等除く） 1/2以内（上限100万円） ※各種加算の積み上げにより最大上限250万円
先端設備等導入計画の認定 https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/20/2376.html 	市の認定を受けた先端設備等導入計画に基づき、労働生産性を向上させるための先端設備等を導入した場合に、その設備等に係る固定資産税の課税標準を一定期間軽減する等の措置を受けるもの。	【特例措置】 固定資産税の特例・・・先端設備に係る固定資産税の課税標準の軽減（最長5年間、最大1/3軽減） 中小企業信用保険法の特例・・・先端設備等導入計画の実行に必要な融資を受ける際、普通保険等通常枠とは別枠の追加保証	市内で事業を営む中小企業者 ※補助金交付事業ではありません

※市の交付決定よりも前に着手した事業は対象外です。
 ※事業内容の確認、その他の事業の活用など、お気軽にお問い合わせください。

【発行元】

嘉麻市役所 産業振興課 商工係
 電話 0948-42-7453
 メール shoko@city.kama.lg.jp

2. 生産性向上、デジタル化などに関する事業、団体

名称	事業概要	対象者	お問い合わせ先
福岡県よろず支援拠点 https://yorozu-fukuoka.go.jp/ 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業庁の事業として運営される無料の経営相談窓口。 ・経営に関することなら何でも相談可能。 	起業希望者、個人事業主、中小企業	福岡県よろず支援拠点 〒812-0046 福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15 6F（福岡県中小企業振興センター） TEL：092-622-7809 平日9:00～16:00
福岡県中小企業生産性向上支援センター https://www.f-seisanseikojo.jp/ 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県の委託事業として実施。 ・生産性向上を目的とし、業務プロセスの改善やデジタル化の活用などの取り組みを伴走支援する。 ・相談料無料、材料費等は実費負担。 	生産・サービスの省力化及び合理化に対する強い意欲を有する県内中小企業等（第一次産業は対象外）	福岡県中小企業生産性向上支援センター 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町 13-50（福岡県吉塚合同庁舎1階） TEL：092-292-8890
福岡県DX人材育成・確保促進事業 https://dx-fukuoka.jp/ 	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省の事業採択により福岡県が実施。 ・デジタル化の推進に向け、 <ol style="list-style-type: none"> ①求職者等向け支援 ②企業・事業主向け支援 ③マッチング支援 を一体的に実施し、正社員就職と人材確保を応援。 ・講習会、コーディネーター派遣、合同会社説明会などを開催。 	県内の企業、求職者など（講習会などの内容による）	福岡県DX人材育成・確保促進事業事務局 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-6-8天神ツインビル13階（株式会社パソナ内） TEL：050-3816-5944 E-mail：fukuoka-dx@pasona.co.jp 平日9:30～18:00
IT導入補助金2023 https://it-shien.smrj.go.jp/ 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営課題を解決するためのITツールの導入を促進するための国の補助金。 ・生産性向上やインボイス対応など、デジタル化の導入を広く対象とする。 ・デジタル化に必要な経費の一部を支援。 	中小企業、小規模事業者等	サービス等生産性向上IT導入支援事業 コールセンター TEL：0570-666-376 TEL：050-3133-3272（IP等） 平日9:30～17:30
事業承継・引継ぎ補助金 https://jsh.go.jp/ 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継等を促進するための国の補助金。 ・事業承継、事業再編、事業統合を契機とした経営革新等に必要経費の一部を支援。 	中小企業、小規模事業者等	事業承継・引継ぎ補助金事務局 <ul style="list-style-type: none"> ・経営革新事業 TEL：050-3000-3550 ・専門家活用/廃業・再チャレンジ事業 TEL：050-3000-3551 平日10：00～12：00、13：00～17：00